

令和8年4月1日

「赤平市こども家庭センター」開設

～妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援体制を構築します～



お腹に赤ちゃんがいるときからお子さまが自立するまで、保健師や家庭支援員などの専門職が、状況に応じたきめ細かな支援を継続して提供してまいります。

母子保健
(健康)



児童福祉
(生活)

【一体化】



ワンストップ型の
連携体制

一体的な相談支援

保健師の「健康面の知見」と福祉職の「生活面の知見」を融合。妊娠期から18歳に達するまで、子育てに関するあらゆる相談に柔軟に対応します。



関係機関との連携

医療・教育・地域子育て支援センターなどと強固に連携。地域全体で子どもと家庭を見守り、個々の状況に寄り添った「伴走型支援」を展開します。



情報の一元化

内部での情報共有体制を確立。制度の狭間で孤立する家庭が生じないように、迅速かつ適切な支援プランを作成します。



【相談窓口・支援体制のご案内】 相談先にお困りの際もお近くの窓口へお声がけください

児童福祉・家庭支援に関すること
社会福祉課(児童福祉担当) ☎32-2216

妊娠・出産・母子保健に関すること
介護健康推進課(母子保健担当) ☎32-5665

配布対象者
外見からはわかりにくい障がいのある方や難病の方、妊娠初期の方など
ヘルプマークを希望する方は、市役所地域福祉係へお申し込みください。



ヘルプマークとは？
援助や配慮を必要としていることが外見からは伝わりにくい方が、「ヘルプマーク」を持つことで周囲の方からの援助や配慮を受けやすくするものです。
「ヘルプマーク」を身に着けた方を見かけたときは、電車・バスなどで席を譲る、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプマーク・ヘルプカードの配布

ヘルプマークとは？

ヘルプカードとは？

援助や配慮を必要としている方のなかには、自分から「困った」となかなか伝えられない方がいます。障がいのある方などが困ったときに助けを求めるためのもので、「手助けが必要な人」と「手助けできる人」を結ぶカードです。
ヘルプカードは窓口での配布のほか、北海道のホームページにも様式を掲載していますので、ご自身で印刷してご利用ください。
災害や緊急時には、カードに記載された内容の手助けなどの配慮をお願いします。



問合せ
地域福祉係
☎32-2216

「子ども誰でも通園制度」が始まります



これまで保育所などの利用は、保護者が働いているといった「保育を必要とする事由」がある場合に限られていました。

今年度から始まる「子ども誰でも通園制度」は、保護者の就労状況に関わらず、生後6カ月から3歳未満の未就園のお子さまを、時間単位で定期的に預けられる新しい制度です。

※通常の保育所への「入所」については、従来通り就労証明書などの提出が必要となります。

ご利用までの流れ

1事前登録

まずは「子ども未来・医療給付係」へ利用登録申請書を提出してください。

※申請書は赤平市のホームページからダウンロードできるほか、子ども未来・医療給付係の窓口にも用意しています。



2面談

お子さまの健康状態やアレルギーの有無などを確認するため、若葉保育所で面談を行います。

3予約・利用

利用希望日を若葉保育所へ予約し、当日お子さまをお預けください。

【ご注意】

申し込みから利用まで、1週間程度お時間をいただきます。

利用予定が決まっている場合は、お早めに申し込みください。

問合せ 子ども未来・医療給付係

☎ 32-2216

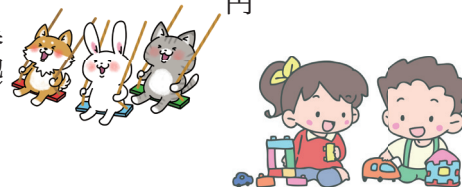
対象
市内に居住する
生後6カ月～満3歳未満の未就園児

利用上限時間
お子さま1人あたり
月10時間まで

利用料金
1時間あたり300円

利用者数上限
1日あたり5人まで

場所
若葉保育所
(茂尻新春日町2丁目1番地)



新たに委嘱された「民生委員・児童委員」を紹介します

このたび、厚生労働大臣・北海道知事・赤平市長より委嘱(指名)を受けた「民生委員・児童委員」の方です。

任期 令和10年11月30日まで



村田 幸夫 氏
担当地区 北文京町
☎ 32-4781

「民生委員・児童委員」は、それぞれ担当する地区で、住民の皆様が安心して生活できるように困りごとや心配事を聞き、助けてくれる場所へつなぐ役割(行政への橋渡し)をもっています。



【問合せ】 地域福祉係 ☎ 32-2216

冬の縁日祭

3月18日、赤平市ボランティアセンター主催の「冬の縁日」がふれあいホール1階で開催されました。

当日は、ギター演奏や赤平市民劇場さずなによる紙芝居「礎・赤平のはじまりは・・・」の上演、ミニレクリエーションなどが行なわれました。会場ではおでんやおしるこなども振舞われ、参加者の皆様は、楽しいひと時を過ごしました。

